

臨床:看護部

## テーマ:点滴ボトルの遮光カバー

### ■ 背景

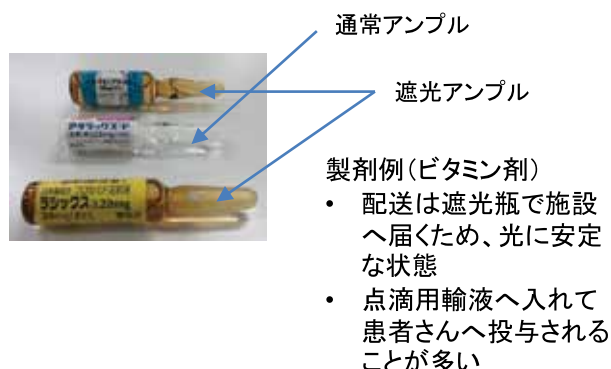
入院・外来患者さんへ点滴投与する薬剤は数多く存在する。その中には、光(特に紫外線)に対して不安定で点滴ボトル中で薬剤が分解する恐れのあるものがある。

特に日当たりの良い窓際のベッドサイドでは注意が必要である。

薬剤が分解すると力価が低下し、目的とする治療効果が低減してしまう可能性があるため、点滴ボトルや点滴ラインを遮光する必要がある。下表に遮光が必要な薬剤例を示す。

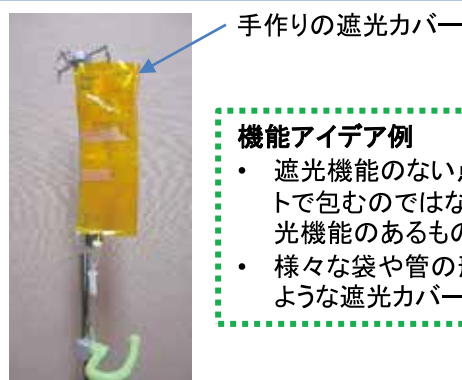
光に対して不安定な薬剤例

種類	商品名、一般名
ビタミン剤	エルネオパ®, オーツカMV®, ビタメジン®, フルカリック®, メチコパール®, ケイツーN®など
抗がん剤	シスプラチン, ダカルバジン, カンプトテシン, ゲムツズマブオゾガマイシン, ジノスタチンスチマラーなど
抗菌剤	ミカファンギン, レボフロキサシンなど



### ■ 課題

- 看護師がそれぞれの点滴バックの形状に合わせて遮光シートを切り張りし光を遮っている。(右図参照)
- 1つ1つ手作りのため、作成するのに非常に手間と時間がかかる。
- 遮光シートは一部のメーカーから市販されているが、使い勝手が良くない。
- 点滴バッグから患者さんへ繋いでいる点滴ラインは遮光されないままである。



#### 機能アイデア例

- 遮光機能のない点滴袋をシートで包むのではなく、そもそも遮光機能のあるものがよい
- 様々な袋や管の形状にも合うような遮光カバー

### ■ 市場性

2021年度にはビタメジン®やエルネオパ®などのビタミン含有注射剤は5,000万本以上が臨床で用いられている。抗がん剤では、白金系のシスプラチンが50万本、カンプトテシンが50万本、ダカルバジンは10万本程度使用されており、遮光シートが使用される潜在ニーズは大きいと予想される。

### ■ 看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>